令和６年度

事業報告書

自　令和６年４月　１日
至　令和７年３月３１日

社会福祉法人　春日部市社会福祉協議会

目　　次

１．法人運営

（１）　理事会・評議員会等の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

（２）　住民・法人会員制度の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４

（３）　広報の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５

（４）　健康でいきいきと働きやすい職場環境づくり・・・・・・・・・・・・・・　５

２．福祉事業の推進

（１）　生活課題の解決に向けた地域支え合い活動の推進・・・・・・・・・・・・　５

（２）　支部社協活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９

（３）　権利擁護の推進及び相談支援体制の充実・・・・・・・・・・・・・・・・　１２

（４）　ボランティア活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３

（５）　福祉教育の推進及び福祉人材の養成・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５

（６）　在宅福祉の支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１７

（７）　社会参加の促進及び機会の提供・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１８

（８）　介護保険事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１８

（９）　障害福祉サービス事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２０

(10)　その他の事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２１

３．収益事業

（１）　自動販売機設置経営事業の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２２

（２）　不要入れ歯リサイクル事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２２

４．ふれあい広場・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２３

令和６年度 社会福祉法人春日部市社会福祉協議会事業報告

自:令和6年4月1日
至:令和7年3月 31 日

１．法人運営

(1) 理事会・評議員会等の開催

会議名	会議開催日	議題
(1)第１回評議員選任・解任委員会	令和６年４月９日	・　社会福祉法人春日部市社会福祉協議会評議員の選任について
(2)第１回評議員会	令和６年４月 19 日	・　社会福祉法人春日部市社会福祉協議会理事の選任について
(3)第１回理事会	令和６年４月 23 日	・　社会福祉法人春日部市社会福祉協議会常務理事の選定について
(4)第２回理事会	令和６年５月 21 日	・　社会福祉法人春日部市社会福祉協議会理事候補者の選定について ・　社会福祉法人春日部市社会福祉協議会監事候補者の選定について ・　社会福祉法人春日部市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について ・　社会福祉法人春日部市社会福祉協議会令和６年度第２回評議員選任・解任委員会の招集について ・　社会福祉法人春日部市社会福祉協議会令和６年度第２回評議員会の招集について ・　令和６年度資金運用計画の見直しについて
(5)第２回評議員選任・解任委員会	令和６年５月 24 日	・　社会福祉法人春日部市社会福祉協議会評議員の選任について
(6)第２回評議員会	令和６年５月 31 日	・　社会福祉法人春日部市社会福祉協議会理事の選任について ・　社会福祉法人春日部市社会福祉協議会監事の選任について
(7)第３回理事会	令和６年６月４日	・　社会福祉法人春日部市社会福祉協議会会長の選任について ・　社会福祉法人春日部市社会福祉協議会副会長の選任について
(8)監事会	令和６年６月６日	・　令和５年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会事業報告について ・　令和５年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会社会福祉事業会計収支決算について

		・　令和５年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会公益事業会計収支決算について ・　令和５年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会収益事業会計収支決算について ・　令和５年度埼玉県共同募金会春日部市支会事業報告及び資金収支決算について
(9)第１回正副会長会議	令和６年６月 11 日	・　令和５年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会事業報告について ・　令和５年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会社会福祉事業会計収支決算について ・　令和５年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会公益事業会計収支決算について ・　令和５年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会収益事業会計収支決算について ・　社会福祉法人春日部市社会福祉協議会令和６年度第３回評議員会の招集について
(10)第４回理事会	令和６年６月 18 日	・　令和５年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会事業報告について ・　令和５年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会社会福祉事業会計収支決算について ・　令和５年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会公益事業会計収支決算について ・　令和５年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会収益事業会計収支決算について ・　社会福祉法人春日部市社会福祉協議会令和６年度第３回評議員会の招集について
(11)第３回評議員会	令和６年６月 27 日	・　令和５年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会事業報告について ・　令和５年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会社会福祉事業会計収支決算について ・　令和５年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会公益事業会計収支決算について ・　令和５年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会収益事業会計収支決算について
(12)第２回正副会長会議	令和６年 10 月１日	・　社会福祉法人春日部市社会福祉協議会業務改善策について ・　社会福祉法人春日部市社会福祉協議会基金設置及び管理規程の制定について ・　社会福祉法人春日部市社会福祉協議会運営調整基金設置規程の廃止について

		・　社会福祉法人春日部市社会福祉協議会第４回評議員会の招集について
(13)第５回理事会	令和６年 10 月９日	・　社会福祉法人春日部市社会福祉協議会あしすと春日部・ゆっく武里デイサービス事業の統合について ・　社会福祉法人春日部市社会福祉協議会基金設置及び管理規程の制定について ・　社会福祉法人春日部市社会福祉協議会運営調整基金設置規程の廃止について ・　社会福祉法人春日部市社会福祉協議会令和６年度第４回評議員会の招集について
(14)第４回評議員会	令和６年 10 月 17 日	・　社会福祉法人春日部市社会福祉協議会あしすと春日部・ゆっく武里デイサービス事業の統合について
(15)第６回理事会	令和７年２月 13 日	・　令和７年度 春日部市社会福祉協議会 予算作成方針について
(16)第３回正副会長会議	令和７年３月７日	・　社会福祉法人春日部市社会福祉協議会冠基金設置規程の制定について ・　社会福祉法人春日部市社会福祉協議会職員就業規程の一部改正について ・　社会福祉法人春日部市社会福祉協議会経理規程の一部改正について ・　令和７年度資金運用計画について ・　役員等賠償責任保険の契約について ・　令和７年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会事業計画(案)について ・　令和７年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会社会福祉事業収支予算(案)について ・　令和７年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会公益事業収支予算(案)について ・　令和７年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会収益事業収支予算(案)について ・　社会福祉法人春日部市社会福祉協議会令和６年度第５回評議員会の招集について
(17)第７回理事会	令和７年３月 11 日	・　社会福祉法人春日部市社会福祉協議会冠基金設置規程の制定について ・　社会福祉法人春日部市社会福祉協議会職員就業規程の一部改正について ・　社会福祉法人春日部市社会福祉協議会経理規程の一部改正について

		・　令和７年度資金運用計画について ・　役員等賠償責任保険の契約について ・　令和７年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会事業計画(案)について ・　令和７年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会社会福祉事業収支予算(案)について ・　令和７年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会公益事業収支予算(案)について ・　令和７年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会収益事業収支予算(案)について ・　社会福祉法人春日部市社会福祉協議会令和６年度第５回評議委員会の招集について ・　第２期春日部市地域福祉活動計画(案)について
(18)第５回評議員会	令和７年３月 27 日	・　令和７年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会事業計画(案)について ・　令和７年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会社会福祉事業収支予算(案)について ・　令和７年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会公益事業収支予算(案)について ・　令和７年度社会福祉法人春日部市社会福祉協議会収益事業収支予算(案)について

○ 役員勉強会

社会福祉協議会の現状や課題について情報共有を図り、今後の運営方針や事業の取り組みについて学ぶ勉強会を実施した。

・ 令和７年１月 15 日　会場：あしすと春日部　講習室

(1) 社会福祉協議会の運営方針について
(2) 県内近隣市社会福祉協議会の運営状況について
(3) 春日部市社会福祉協議会の課題について
(4) 令和６年度の取り組み状況
(5) 令和７年度以降の取り組みについて

参加者　理事：12 名

(2) 住民・法人会員制度の充実

地域に必要とされる地域福祉活動を推進するため、社協会員の募集に努めた。

・ 説明会日程：庄和(４月 10 日)、豊春(４月 11 日)、粕壁(４月 12 日)
豊野(４月 16 日)、武里(４月 17 日)、幸松(４月 18 日)
内牧(４月 19 日)

・ 社協会員会費実績

会費種別	目標額	実績額	達成率
一般会費	28,393,000 円	19,454,462 円	68.5%
賛助会費	－	990,000 円	－
特別会費	－	760,000 円	－
合　計	－	21,204,462 円	－

(3) 広報（広報誌、ホームページ）の充実

社協活動の周知や福祉への理解等を促進するため、広報誌「あしすと」を年３回全戸配布するとともに、「社協のご案内（冊子）」を発行した。さらに、SNS を活用し、これまで以上に情報発信力等の充実強化を図った。

・ あしすと　　年３回（７月、11 月、３月）
・ 社協のご案内（冊子）　　年１回（６月）
・ 有料広告　　３事業者　280,000 円

(4) 健康でいきいきと働きやすい職場環境づくり

職員の健康や安全を守るための必要な対策について検討する衛生委員会の開催や職員のメンタルヘルス不調を未然に防止するストレスチェックの実施など働きやすい職場環境づくりに努めた。

２．福祉事業の推進

(1) 生活課題の解決に向けた地域支え合い活動の推進

① コミュニティソーシャルワーク機能の充実

制度の狭間の問題や複合課題等への対応として、個人と地域、制度等をつなぐことで「地域における支え合いの仕組みづくり」につながるよう支援した。

② 生活支援体制整備事業（市受託事業）（事業区分：Ⅰ－15）

高齢化が進む中で生じる地域の抱える課題に対し、地域の社会資源である地縁組織やボランティア、社会福祉施設等さまざまな立場の方々が生活支援を行う「地域で支える仕組みづくり」を推進した。

・ ゆるまも講演会の実施　　6 件
・ 地域開放スペースマップ・お役立ちマップの調整　　25 件
・ 支部社協と第 2 層 SC との連携支援　　250 件
・ ゆるまも通信の発行　　13 件
・ 担い手の養成及び活動立ち上げ後の見守り支援　　228 件
・ しゃべる場の開催　　26 件
・ その他　　11 件

○ 支え合い会議（協議体。第１層：市圏域、第２層：支部社協圏域）

地域の情報をさまざまな立場の方々で共有するため、「第１層支え合い会議」を開催

するとともに、支部社協、地域包括支援センター等と連携し各地区（支部社協圏域）における「第２層支え合い会議」の支援など地域の支え合い活動実施に向けた支援を行った。

・「かすかべ支え合い会議」（第１層協議体）

令和７年２月６日　　参加者：33 名

令和６年度事業実績・今後の取組みについて

○「かすかべ ゆるまも通信」発行

地域の支え合い活動や生活支援コーディネーターの活動を周知するため、広報物を発行した。

○「地域の困りごとアンケート」の実施

地域の「日常生活からの困りごと」や「相談先の有無」、「近所づきあいの程度」、「居場所」等を把握することで、支部社協等との連携の中で、今後の居場所づくりに役立てるようアンケートを実施した。

○「しゃべる場」の実施

第３層圏域（単位・複数自治会圏域）において、第２層生活支援コーディネーター（各地域包括支援センター）と連携して開催に向け調整を進め、「しゃべる場」として開催出来た地区もあったが、開催出来なかった地区についても、各地域のサロンやボランティア団体等を訪問し、活動状況や困りごと等を共有する「ミニしゃべる場」を実施した（計 25 ヶ所）。

○ 担い手養成講座の開催

地域住民が社会参加、社会的な役割を持つ事で生きがいを感じ、介護予防に加え、地域づくりにつなげられるよう、地域活動を担う人材を養成した。

・「今こそ集まれ！地域活動者のつどい」の開催

令和７年３月 27 日　　参加者：35 名

県社協 DVD「私たちのまちの支え合い」鑑賞

講義「地域活動の拠点による効果」

～草加市社会福祉協議会「さかえーる」に学ぶ～

情報交換会「活動の中で工夫していること」、「ゆるまもエピソード」

○ 訪問型サービスＡ従事者養成研修

生活支援サービスの担い手育成の一環として、春日部市の指定訪問型サービスＡ事業所で生活支援を担う従事者を養成した。

令和６年 12 月 10 日・17 日　全 10 時間　　受講者：15 名（うち修了者８名）

③ 市内社会福祉施設等との連携

制度の狭間の問題や新たな課題等に対する地域の支え合い活動の推進のため、福祉施

設等と地域との連携・協働による取り組みを進めた。

○ 春日部市社会福祉法人連絡会

高齢者、児童、障がい者などの分野を超えた社会福祉法人相互の更なる連携や地域社会の課題解決を図るため、「春日部市社会福祉法人連絡会」を開催し「社会貢献事業の企画、検討及び実施」、「会員相互の情報交換」、「福祉ニーズの把握及び課題解決のための取り組み」などについて検討を進めた。

・ 「春日部市社会福祉法人連絡会」

令和６年 10 月 22 日　　参加：５法人５名

各法人が取り組まれている社会貢献活動等の紹介

公的制度だけでの対応が困難なケース

地域との連携（災害協定）について

連絡会を通じた活動等について

○ 「地域開放スペース」の推進（「地域開放スペースマップ」の発行）

市内の福祉施設等と地域とをつなぐため、法人の運営する施設内の会議室等を地域住民へ開放する「地域開放スペース」の拡充に努めた。また、担い手の養成等において「地域開放スペース」を活用することにより、福祉施設等と地域との連携・協働による取り組みを進めた。

16 団体掲載、１回発行

○ かすかべお役立ちマップ

地域の支え合い活動の啓発、利用促進の「見える化」を図るため、サロンや会食会、生活支援団体等地域ごとの支え合い活動を掲載した「お役立ちマップ」を作成した。

⑤ 彩の国あんしんセーフティネット事業

既存の制度では対応しきれない制度の狭間にある生活困窮者等が抱える生活課題に対し、市内の社会福祉法人との連携・協働により相談支援を実施した。

・ 支援件数　　なし
・ 支援内容　　相談支援、経済的支援、食糧支援
・ 参加法人　　孝楽会、子供の町、庄和和合会、かがやき
・ 連絡会　　令和６年１１月７日　春日部市役所生活支援課（生活困窮者自立相談員）と打合せ

⑥ かすかべ家事サービス事業（事業区分：Ⅰ－6）

日常的な家事や院内介助など地域の支え合い活動を進めることにより、安心して暮らす事のできる地域づくりを推進した。

・協力会員養成研修会

令和６年７月 30 日

講演「暑い夏を乗り越える食事と調理の際に注意すること」

調理実習「火をつかわない料理４品」

令和６年９月 20 日

クリーニング屋さんに学ぶ「洗濯教室」、交流会

令和６年 12 月 10 日、17 日

訪問 A と合同研修（車いすの利用方法他）

令和６年３月 25 日

傾聴講座「傾聴の基本」～信頼関係を築く話の聴き方～

- 会員数　　利用会員：53 名　　協力会員：48 名
- 支援実績　　件数：1,011 件　　時間数：1,291.5 時間

⑦ ファミリー･サポート･センター事業（市受託事業）（事業区分：Ⅱ－1）

地域の支え合い活動を進めることにより、仕事と育児を両立できる環境を整備するとともに、子育て支援の充実を図った。

- 会員養成講座

日程	内容	参加者数
令和６年　５月 21 日・22 日	事業説明	５名
８月 28 日・29 日	講義	８名
10 月 30 日・31 日	こどもの健康と安全について	14 名
令和７年　１月 22 日・23 日	保育の心構えとこどもの接し方	９名

- スキルアップ講座

日程	内容	参加者数
令和６年　６月 19 日	防災講座 ～災害時３の法則が命を守る～	12 名
９月 25 日	幼児救命救急講座受講	７名
12 月 18 日	精神疾患を抱える親を持つ子どもたち	15 名
令和７年　２月 19 日	幼児救命救急講座受講	７名

- 会員交流会

日程	内容	参加者数
令和６年　７月 24 日	日常で役立つコミュニケーションのコツ	６名

- 会報紙の発行　　年１回（３月）
- 会員数　　依頼会員：1,273 名　提供会員：252 名　両方会員：124 名
- 活動件数　　1,629 件
- 無料券（小学生以下の児童が３人以上いる依頼会員）

15 件（利用者：７名、無料券：94 枚使用）

- ひとり親家庭助成券　　29 件（利用者：９名、助成券：99 枚使用）

⑧ 子どもの居場所づくり（事業区分：Ⅰ－3・9）

子どもの貧困に係る課題や社会的孤立への対応として、子どもの居場所（ボランティア団体やサロン等）について、地域住民とともに考え、取り組むことで、地域の支え合い活動の仕組みづくりにつなげた。

○ 「わくわく芋ほり」

「地域のつながり」づくりのため、ボランティア所有の畑にて芋掘りを実施した。

日程	参加者	ボランティア
令和６年　4 月 27 日（サツマイモ苗植え）	7 名	8 名
6 月 15 日（ジャガイモ掘り）	10 名	6 名
10 月 26 日（サツマイモ掘り）	12 名	7 名
令和７年　3 月 8 日（ジャガイモ種芋植え）	11 名	8 名

○ 「わくわくの森」（子どもサロン）

長期休みの子どもの居場所づくりのため、牛島ボランティアセンターにて実施した。

内容：モノ作り、昔遊び、手作りゲーム

日程	参加者(延べ)	ボランティア
令和６年　8 月 19 日・20 日	17 名	9 名
12 月 26 日・27 日	12 名	8 名

○ ひとり親家庭食材配付事業（かすかべココつな便）

継続的な課題を抱えるひとり親世帯等に対し、地域住民や社会福祉法人連絡会等の参加と協力を得て、毎月、食の支援を図るとともに、継続的な相談支援を行った。

- 利用登録世帯数　　56 世帯(家族人数：174 名)
- 寄付寄贈件数　　84 件
- 相談件数　　730 件

○ ひとり親家庭受験生応援事業

ひとり親家庭の子どもの将来の自立に向けた取り組みを支援するとともに、大学・高校受験に係る経済的な支援（図書カード3,000円分）を図るとともに、継続的な相談支援につなげた。

- 利用世帯数　　17世帯(利用人数：18名)

○ 子どもの支援ネットワーク

課題を抱える子ども等に対する地域全体での支援体制をより充実させていくため、子どもの居場所づくりや子ども支援を行う団体間のつながりづくりを目的としたネットワーク会議を開催した。

- 令和６年６月６日　　参加団体数：10 団体
- 令和７年３月 29 日　　参加団体数：８団体

(2) 支部社協活動の推進（事業区分：Ⅰ－2・9）

より身近な地域福祉を推進するため、その中心的な役割を担う各支部社協（粕壁・内牧・武里・豊春・幸松・豊野・武里団地・庄和）と連携することで、地域の様々な課題や特性に応じた支部社協活動を推進した。

○ 支部社協活動の支援

・ 支部社協活動費

支部名	助成額	支部名	助成額
粕壁	2,010,000 円	幸松	1,811,000 円
内牧	1,234,000 円	豊野	1,490,000 円
武里	2,357,000 円	武里団地	585,000 円
豊春	2,139,000 円	庄和	2,023,000 円

・ 支部社協歳末福祉事業活動助成金

支部名	助成額	支部名	助成額
粕壁	205,000 円	幸松	183,000 円
内牧	125,000 円	豊野	162,000 円
武里	314,000 円	武里団地	81,000 円
豊春	249,000 円	庄和	280,000 円

① 見守り・声かけ活動

支部社協等の協力のもと、単身高齢者や高齢者夫婦世帯への見守り体制を整えるとともに、高齢者だけでなく、ひとり親世帯、ヤングケアラー、不登校、生活困窮、社会的孤立に陥っている人などに対し、一人ひとりが支え合いという認識を感じられるような地域づくりを進めるため、地域全体で“ゆるやかに” “さりげなく” “無理をしない”「ゆるやかな見まもり（ゆるまも)」活動への周知啓発を図った。

地区名	開催日	内容	受講者数
内牧	7.1	ミニしゃべる場 サロン助成金交付会議	15 名
	11.30	ミニしゃべる場 内牧支部社協ふれあい会食会	30 名
武里	9.12	ミニしゃべる場 千間ふれあいの会	15 名
	10.29	講義・ミニしゃべる場 薄谷カフェ	10 名
	12.12	講義・ミニしゃべる場 大場新田ひまわりクラブ	14 名
	1.16	講義 武里中野いきいきクラブ	30 名
豊春	6.22	ミニしゃべる場 豊春支部社協サロン委員会	20 名
	10.15	講義・ミニしゃべる場 いきいきサロンあおば	13 名
	11.19	講義・ミニしゃべる場 大沼ほのぼのサロン	20 名
	9.26	ミニしゃべる場 豊春ささえあいミーティング	19 名
	9.27	ミニしゃべる場 豊春ささえあいミーティング	23 名
	1.27	ミニしゃべる場 ふじの街自治会助け合い組織立ち上げ意見交換会	20 名
	2.20	ミニしゃべる場 宮川ふれあい・いきいきサロン	20 名
	2.28	ミニしゃべる場 豊春支部社協サロン代表者会議	30 名
	3.10	ミニしゃべる場 立野ふれあいサロン	15 名
	3.13	講義・ミニしゃべる場 花陽会	15 名

幸松	12.10	講義・ミニしゃべる場 いきいきサロンうしよん	16名
	1.14	ミニしゃべる場 なでしこ・こぶち	10名
	1.22	ミニしゃべる場 遊里サロン	13名
	2.25	ミニしゃべる場 なでしこ・こぶち	10名
	3.11	ミニしゃべる場 なでしこ・こぶち	10名
豊野	7.6	ミニしゃべる場 豊野支部社協サロン担当者会議	19名
庄和	10.17	講義・ミニしゃべる場 庄和支部社協理事会	11名
	11.21	講義・ミニしゃべる場 新ふれあい会食会	18名
	2.14	ミニしゃべる場 ほっこり虹の会	10名
	3.14	ミニしゃべる場 ほっこり虹の会	10名
全地区	6.17	講義　ボランティア交流会 「地域でつながろう！合言葉はゆるまも！」	46名
	12.3	講義　ふれあい大学	75名
	12.10	講義　訪問型サービスA従事者養成研修	8名
	3.27	講義　今こそ集まれ！地域活動者のつどい	35名
合計			600名

② ふれあい会食会

支部社協や地域住民の協力のもと、単身の高齢者や高齢者夫婦世帯などを対象に、地域での交流の場や生きがいづくりを図るため、支部社協やボランティアグループ、小地域での会食会（配食）活動を支援した。

・ 支部社協主催

支部	実施日	支部	実施日
粕壁	対象者へ商品券配付	豊野	11月21日
内牧	11月30日	幸松	小渕11月、八丁目12月、牛島10月、連合12月、不動院野11月
武里	9月26日、11月20日	武里団地	5月19日、9月29日、12月22日
豊春	11月17日	庄和	11月7日・8日　配食

・ ボランティアグループ等（延べ参加者数2,726名、延べ活動者数1,128名）

ボランティアグループ：7団体　69回開催

モンキーポート豊春東	モンキーポート豊春西
モンキーポート武里	モンキーポート豊野
ほのぼの会	新ふれあい会食会
会食会こすもす	

小地域：10 団体　　13 回開催

小渕地区福祉ニーズ対策委員会	牛島地区福祉ニーズ対策委員会
武里西民協須賀地区	武里東民児協備後地区
八丁目地区福祉ニーズ対策委員会	新川島自治会
文化村ふれあい会食会	六軒町ふれあい食事会
不動院野地区	幸松・連合地区

③ ふれあい・いきいきサロン

地域での交流や居場所づくり、生きがいづくりを進めるため、「ふれあい・いきいきサロン」の設置促進や活動助成を実施した。

・ 登録団体数

支部名	高齢者	介護者	子育て	地域交流	計
粕壁	5	－	－	－	5
内牧	4	－	－	－	4
幸松	5	－	－	－	5
豊野	7	－	1	3	11
武里	14	－	1	4	19
豊春	26	－	－	4	30
武里団地	1	－	－	－	1
庄和	13	－	－	2	15
計	75	－	2	13	90

・ 助成額　　1,335,000 円（89 団体）

○ ふれあい・いきいきサロン研修

「今こそ集まれ！地域活動者のつどい」と合同で開催した。

④ 支部社協情報交換会

より地域に根ざした地域福祉活動を推進するため、支部社協関係者や地域包括支援センター、春日部市介護保険課など関係機関が集まり、支部社協活動の現状や課題について情報共有を行う情報交換会を開催した。

(3) 権利擁護の推進及び相談支援体制の充実

① 福祉サービス利用援助事業（県社協受託事業）（事業区分：Ⅰ－8）

判断能力が不十分なため日常生活を営むのに支障がある人に対し、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預かりサービスを実施した。

・ 利用者数：33 名　生活支援員数：15 名　相談件数：831 件　支援件数：511 件

・ 生活支援員研修　令和７年３月 11 日

施設概要説明・見学（社会福祉法人孝楽会 孝楽園）

意見交換会「支援時の対応について等」

② 生活福祉資金貸付事業（事業区分：Ⅰ－7）

世帯の生活の安定や自立の更生を図るため、生活が困窮している世帯に対し、相談や福祉資金の貸付支援を行った。

・ 相談件数：1,272 件（延べ）
・ 申請件数：11 件

《内訳》
- 総合支援資金　0件
- 福祉資金　4件
- 教育支援資金　1件
- 緊急小口資金　6件
- 要保護不動産担保型資金　0件

③ 小口福祉資金貸付事業（事業区分：Ⅰ－13）

生活が困窮している会員（住民）世帯の生活の安定や自立の更生を図るため、福祉資金の貸付を実施した。また、償還滞納世帯に対し、督促状を送付するなどの償還指導を行った。

・ 新規貸付件数及び貸付金額　129 件　2,015,000 円
・ 償還件数及び償還金額　138 件　2,260,000 円
・ 未償還金額(累計)　2,207,000 円

④ 心配ごと相談事業（事業区分：Ⅰ－10）

日常生活から発生する悩み事など心の問題や法律の問題を、臨床心理士・弁護士が相談員となり、問題解決に向け支援を行った。

○ 心の相談　毎月第２・第４金曜日（午前９時～正午）
相談員：１名（臨床心理士）　相談件数： 22 件

○ 弁護士相談　毎月第２・第４金曜日（午後１時～午後４時）
相談員：２名（弁護士）　相談件数：112 件

(4) ボランティア活動の推進（事業区分：Ⅰ－4・5）

地域福祉の推進を図るため、その担い手となる「ボランティア」の育成及び活動支援を行った。

① ボランティアセンターの運営

ボランティア活動の推進を図るため、ボランティア活動希望者やボランティアグループに対して、ボランティア活動の紹介・情報提供等を行った。

・ ボランティア相談件数：321 件　マッチング件数：29 件

○ ボランティアパートナーの配置（牛島・浜川戸・武里地区ボランティアセンター）

ボランティア活動に関する相談対応や情報提供等を行うため、各ボランティアセンターにボランティアパートナー９名を配置した（月～金 午前 10 時～午後４時、浜川

戸のみ月・水・金)。

また、ボランティアパートナー間の情報交換や資質向上を図るため、定期的に会議を開催した。

○ ボランティアセンターの貸出

センター	件数	利用者数 (V 相談含む)
春日部	179 件	315 名
浜川戸	49 件	78 名
牛　島	154 件	656 名
武　里	11 件	13 名
計	369 件	969 名

② ボランティアの育成及び活動支援

ボランティア活動の啓発及びボランティア自身が地域の課題解決への担い手となれるよう支援した。

○ ボランティアの育成及び活動支援

・「ボランティア交流会」の開催

令和６年６月 17 日　　参加者：46 名

講義　「地域でつながろう！合言葉は“ゆるまも”」

・ 彩の国ボランティア体験プログラム事業

実施期間：令和６年７月～令和７年２月

プログラム数：37 件　　参加者数：50 名

・「ボランティアフェスティバル」

令和 7 年 2 月 15 日　　会場：ララガーデン春日部　　参加者：337 名

共催：春日部市ボランティア活動推進連絡会

内容：各ボランティア団体によるパネル展示、折り紙体験、科学体験、点字体験、バルーンアート、ハンドセラピー体験、ボランティア相談

・「おうちで出来る！ボランティア活動」　　参加者：31 名、９団体

・「福祉機器お手入れボランティア」　　参加者：12 名

○ ボランティア活動への助成

ボランティアグループの育成やボランティア活動を推進するため、育成費の助成を実施した。　　交付団体：36 団体

③ 災害ボランティアセンターの対応

災害ボランティアの養成や災害ボランティアセンターの開設や運営に備えるため、講座や訓練を実施した。

・ 「災害ボランティア登録者養成講座」

令和７年１月 25 日　　参加者：市民 17 名、職員 20 名

講義　「災害に関する基礎知識と春日部市の取り組み」

グループワーク「被災者の心情の理解と困りごとへの対応を考える」

④ 庄和社会福祉センターの貸出（事業区分：Ⅱ－2）

地域福祉推進を図るため、福祉活動の場として施設の貸出を行った。

・ 利用件数：835 件　　利用者数：10,679 名

(5) 福祉教育の推進及び福祉人材の養成

① 福祉教育の推進

小中学校や当事者団体、社会福祉法人、ボランティアグループ等の協力のもと、誰もが地域の一員であるという意識の醸成を図るとともに、福祉に関する問題や活動への興味を促し、地域活動への参加をとおして地域づくりにつながるよう福祉教育を進めた。

・ 体験者数等

内　　容	体験者数(延べ)
車椅子体験学習	809 名
福祉講演	1,384 名
アイマスク体験学習	452 名
手話体験学習	303 名
点字体験	799 名
高齢者疑似体験	515 名
合　　計	4,262 名

体験実施区分	件数	体験者数(延べ)
小学校	52 件	3,650 名
中学校	7 件	612 名
その他	0 件	0 名
合　計	59 件	4,262 名

② 長寿を祝う会（事業区分：Ⅰ－11）

多年にわたり社会に尽くしてこられた高齢者を敬愛し、長寿を祝うため満 80 歳以上の方を対象とした「長寿を祝う会」を開催した。

令和６年１０月６日　　会場：正和工業にじいろホール　　参加者数：2,146 名

アトラクション内容

地域芸能：春日部市文化連合会

コンサート：ザ昭和歌謡団

演　　奏：午前 飯沼中学校、午後 大増中学校

③ ふれあい広場の開催（事業区分：Ⅰ－12）

心のふれあいを通して、住みよいまちを築くため、福祉に対する理解を深めるとともに、交流の輪を広げ思いやりのある心を育てるために「ふれあい広場」を開催した。

令和６年 11 月２日　　会場：ウイングハット

※ 詳細については 23 ページ参照

④ 社会福祉従事者の養成

社会福祉活動者の育成や地域への貢献を図るため、大学等から実習生の受け入れを行った。

社会福祉士現場実習

日数	人数	学校等	実習先
8 日	1 名	埼玉県立大学	地域福祉
8 日	1 名		
16 日	1 名		
24 日	1 名	文教大学	
24 日	1 名		
合計	5 名		

介護実習等

日数	人数	学校等	実習先
1 日	13 名	春日部市立看護専門学校	訪問介護
4 日	4 名	吉川福祉専門学校	
1 日	5 名	春日部東高等学校	あしすと春日部デイサービスセンター
4 日	1 名	越谷北高等学校	
2 日	1 名	学研ココファン	
5 日	1 名	芝浦工業大学	
1 日	1 名	あおぞら高校	
2 日	13 名	春日部市立看護専門学校	
2 日	13 名	春日部市立看護専門学校	ゆっく武里デイサービスセンター
2 日	4 名	春日部市立看護専門学校	地域包括支援センター
2 日	2 名	人間総合大学	
1 日	1 名	春日部特別支援学校　（高等部 2 年）	リサイクルショップ
1 日	1 名	（高等部 1 年）	
5 日	2 名	春日部特別支援学校　（高等部 3 年）	ゆりのき支援センター
1 日	2 名	（高等部 2 年）	
1 日	2 名	（高等部 1 年）	
1 日	4 名	（中等部 1 年）	
1 日	3 名	専門学校日本医科学大学校	
3 日	1 名	春日部特別支援学校　（高等部 2 年）	ひまわり園
1 日	5 名	（高等部 1 年）	
1 日	1 名	（中等部 1 年）	
1 日	1 名	宮代特別支援学校　（高等部 3 年）	
1 日	3 名	専門学校日本医科学大学校	
1 日	2 名	春日部特別支援学校　（中学部 1 年）	ふじ支援センター
1 日	2 名	（高等部 1 年）	

１日	３名	専門学校日本医科学大学校	
１日	３名	専門学校日本医科学大学校	あおぞら
１日	１名	春日部特別支援学校　（高等部２年）	
１日	１名	（中学部１年）	
１日	１名	宮代特別支援学校　（中学部１年）	
１日	１名	（中学部１年）	
合計	98 名		

(6) 在宅福祉の支援

① 紙おむつ配付事業（事業区分：Ⅰ－3・9）

経済的負担の軽減や在宅での介護を支援するため、在宅の寝たきり高齢者や重度障がい者のいる世帯に対し、紙おむつを配付した。

- 配付回数　　年６回（５月、７月、９月、11 月、１月、３月）
- 対 象 者　　高齢者　　65 歳以上の課税世帯で要介護 4・5 に該当する人
  障がい者　３歳以上 65 歳未満の身体障害者手帳 1・2 級または療育手帳Ⓐ・Ａを所持し、肢体不自由のうち下肢または体幹機能障害のある人で、紙おむつ以外の方法で排泄処理が出来ない人
- 配付件数

	ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ	ﾃｰﾌﾟﾀｲﾌﾟ			尿取りﾊﾟｯﾄ	ﾊﾟﾝﾂﾀｲﾌﾟ				子供用ﾃｰﾌﾟ・ﾊﾟﾝﾂ	計
		S	M	L		S	M	L	LL		
高齢者	5	7	74	45	107	11	157	81	80	0	567
障がい者	7	0	19	25	21	0	20	6	14	6	118
合計	12	7	93	70	128	11	177	87	94	6	685

② 車椅子貸出事業（事業区分：Ⅰ－9）

高齢者等歩行が困難な方への外出支援や福祉教育の推進を図るため、車椅子の貸出を行った。

- 貸出件数：328 件
  あしすと：261 件、庄和支所：48 件、ゆっく武里デイサービスセンター：４件
  ふじ支援センター：２件、ひまわり園：１件、リサイクルショップ：７件
  ゆりのき支援センター：５件

③ 有償ホームヘルプサービス事業（事業区分：Ⅰ－14）

介護保険制度や障害者総合支援法に定めるホームヘルプサービス事業を補完するため、有償ホームヘルプサービスを提供できる体制を整えた。

④ 歳末援護金配付事業（事業区分：Ⅰ－9）

民生委員の協力のもと、明るい歳末を迎えられるよう歳末援護金（市内共通商品券：2,000 円分）を配付するとともに、地域のつながりづくりを支援した。

・ 低所得世帯　1 件　・ 身体障がい児・者　231 件
・ 知的障がい児・者　164 件　・ 精神障がい児・者　7 件
・ 寝たきり・認知症高齢者　34 件　計　437 件
合計金額　874,000 円

(7) 社会参加の促進及び機会の提供

① 手話通訳派遣事業（市受託事業）（事業区分：Ⅱ－3）

社会生活におけるコミュニケーション等を円滑にするため、聴覚障がい者や音声、言語機能障がいのある方に対し、手話通訳者の派遣を行った。

・ 手話通訳者：7 名　手話通訳利用者：44 名　派遣件数：779 件

② ひとり親家庭バス旅行（事業区分：Ⅰ－9）

親子や各家庭間の交流を深めるため、ひとり親家庭の親子（原則として、子供は小学校６年生まで）を対象に日帰りバス旅行の機会を提供した。

令和６年８月 17 日　参加者：大人 14 名、子供 16 名　計 30 名
行　先：揚州飯店本店、よこはまコスモワールド

③ 福祉車両貸出事業（事業区分：Ⅰ－3）

車椅子利用者の外出支援を図るため、高齢者や障がい者等に対して、福祉車両（計２台）の貸出を行った。

・ 利用件数：回（あしすと：128 回、庄和支所：75 回）

(8) 介護保険事業

① 居宅介護支援事業（事業区分：Ⅱ－5）

介護保険認定の高齢者に対して、心身の状況、周辺環境、本人やその家族の意向等を勘案し、適切な居宅サービスの利用が可能となるよう居宅サービス計画（ケアプラン）の作成を行った。

また、居宅生活がケアプランに基づき円滑に行われるよう、指定居宅サービス事業者や関係機関と連携を図りながら適切な支援を行った。

・ ケアプラン作成件数（予防プラン含む）：1,332 件　認定調査件数：35 件

② 訪問介護事業（事業区分：Ⅰ－17）

要支援者や要介護者その家族等の負担軽減を図るため、感染防止対策を図り、介護計画等に基づきホームヘルパーを派遣し、自立した日常生活を営むことが出来るように適切な援助を行った。

・ 利用者数等

	訪問介護事業	第 1 号訪問事業
利用者実人数（月平均）	29 名	10 名
身体介護	615 時間 15 分	
生活援助	1,325 時間 45 分	527 時間 45 分

身体生活	894 時間 10 分	
合　　計	2,835 時間 10 分	527 時間 45 分

③ 通所介護事業（あしすと春日部・ゆっく武里）（事業区分：Ⅰ－18・19）

要支援者や要介護者の生活の助長、心身機能の維持向上等や、その家族の介護負担の軽減を図るため、通所による入浴、給食、生活指導等のサービスを提供した。

・ 利用者数等

		あしすと春日部	ゆっく武里
利用者実人数（月平均）	介護	54 名	20 名
	予防	10 名	8 名
利用者数(延べ)	介護	5,473 名	2,251 名
	予防	668 名	696 名

④ 地域包括支援センター事業（市受託事業）（事業区分：Ⅱ－6）

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を営むため、高齢者やその家族、関係機関からの相談に応じ、在宅での生活を支援した。また、多職種協働による地域ケア会議を定期的に開催し、個別ケースの課題解決にむけて協議した。

認知症地域支援推進員を配置し、研修や地域の行事参加を通して、地域住民や福祉専門職に認知症の正しい理解の普及・啓発に努めた。

・ 相談内容等

介護予防相談	246 名	権利擁護相談	16 名
医療関係相談	311 名	経済的支援相談	3 名
介護保険サービス等に関する相談	929 名	その他	42 名
認知症に関する相談	120 名	合計	1,668 名

○ 認知症関連研修・実施事業

認知症サポーター養成講座　9 回
地域ケア会議　12 回
オレンジカフェ（認知症カフェ）　10 回

○ 権利擁護・高齢者虐待対応に関する相談実績

成年後見制度に関する相談　9 件
高齢者虐待対応に関する相談　5 件

○ 認知症ケア総合推進事業等実績

認知症の人やその家族及び関係機関等からの相談に応じた支援を実施した。介入が難しいケースは、各関係機関との連携を図り対応した。認知症への正しい知識と理解を深めるための啓発や、認知症ケアパスの普及を図った。

○ 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント事業

介護予防サービス計画作成状況　　1,313 件

介護予防ケアマネジメント計画作成状況　　774 件

○ 春日部市第２層生活支援体制整備事業

日常生活上のちょっとした困りごとに対する手助け（支援）を必要とする高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、第１層生活支援コーディネーターと連携して、地域住民による支えあい活動（生活支援）を広げるための体制づくりを進めた。

- 地域のニーズと資源の状況の見える化
- 地域の各種団体等への協力依頼及び関係者のネットワーク構築
- 生活支援の担い手の養成やサービスの開発
- 地域支え合い会議の開催

○ フレイルチェック業務啓発事業

加齢によるフレイルへの早期の気づきを促すため、フレイルチェック測定会を実施するとともに、市民ボランティアであるフレイルサポーターの養成を行い、フレイル予防について普及啓発活動を行った。

(9) 障害福祉サービス事業

① 居宅介護事業（障がい者訪問介護）（事業区分：Ⅰ－20）

日常生活を営むのに支障がある障がい者に対し、ホームヘルパーを派遣することで、適切な日常生活の援助を行うとともに、家族の介護負担の軽減を図った。

- 利用者数等

	身体障害	知的障害	精神障害	移動支援	重度訪問介護	同行援護
利用者実人数 (月平均)	9 名	1 名	11 名	16 名	2 名	7 名
身体介護	354 時間 35 分	－	122 時間 05 分	84 時間 45 分	572 時間 30 分	
家事援助 (身体介護なし)	1,159 時間 05 分	48 時間 05 分	1,069 時間 30 分	53 時間 55 分		349 時間 00 分
合　計	1,513 時間 40 分	48 時間 05 分	1,191 時間 35 分	138 時間 40 分	572 時間 30 分	349 時間 00 分

② 地域活動支援センター事業（障害者デイサービス事業）（事業区分：Ⅰ－21）

地域において雇用・就労が困難な在宅障がい者に対して、通所により送迎、健康チェック、入浴、昼食、創作活動、レクリエーション、健康相談等の各種サービスを提供することにより、心身機能の維持向上、社会的孤立感の解消、家族の身体的、精神的介護負担の軽減を図った。

- 利用者実人数（月平均）：26 名　　延べ利用者数：2,100 名

③ 障がい者通所支援施設の運営（指定管理事業）（事業区分：Ⅰ－22～31）

指定管理期間：令和３年４月１日～令和８年３月 31 日

心身障がい者に対し、知識と能力の向上に必要な訓練等を提供するとともに、自主性を育めるような支援を行うことで、日常生活と社会生活を促進できるよう支援した。

・ 利用者数等

		利用者数	延べ利用者数	月額平均工賃
就労継続支援施設Ｂ型	ふじ支援センター	13 名	2,784 名	6,936 円
	ゆりのき支援センター	27 名	5,972 名	18,238 円
	リサイクルショップ	15 名	3,391 名	15,302 円
	ひまわり園	17 名	3,110 名	8,626 円
生活介護	あおぞら	16 名	2,956 名	

（就労継続支援施設Ｂ型）

・ 高齢者及び障がい者世帯に対する買い物代行サービスについて、提供する仕組みを整えるとともに、周知を図った。

・ 他施設とも連携して、自主製品販売を実施した。

（生活介護）

・ 利用者家族の送迎にかかる負担軽減を図るとともに、利便性の向上を目的とした送迎サービスを実施した。

④ 春日部市障害者就労支援センター運営事業（市受託事業）（事業区分：Ⅱ－4）

一般就労を希望する障がい者や障がい者の雇用を希望する事業所からの相談を受け付けるとともに、職場実習の受入れ先の開拓や一般就労した障がい者が職場に定着できるよう支援を行った。

・ 登録者数　1,018 名（身体：127 名、知的：400 名、精神：491 名）
・ 就労者数　　492 名（身体：44 名、知的：244 名、精神：204 名）
・ 相談者数　1,239 名（身体：69 名、知的：409 名、精神：736 名、他：25 名）
・ 訪問支援　　470 名（就労支援：162 名、定着支援：308 名）

(10) その他の事業

① 法外援護金支給事業（事業区分：Ⅰ－9）

やむを得ない事情で所持金もなく、旅費等に困窮している行路者に援護金を支給した。

・ 支給件数：7 件　　支給額：2,100 円

② 各福祉団体への助成（事業区分：Ⅰ－9）

地域福祉向上のため、下記団体へ助成した。

・ 春日部市ボランティア活動推進連絡会　　180,000 円
・ 春日部市いきいきクラブ連合会　　160,000 円
・ 春日部市遺族連合会　　72,000 円

・ 春日部市手をつなぐ親の会　　108,000 円
・ 春日部市青少年相談員協議会　　27,000 円
・ 春日部市青少年育成推進員協議会　　90,000 円

③ 共同募金運動の展開

自治会をはじめ、企業及び団体等の協力を得ながら、共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい）運動を展開した。

・ 募金期間　　令和６年 10 月１日から令和７年３月 31 日
・ 募金実績

	目標額	実績額	達成率
赤い羽根共同募金	16,543,000 円	16,928,141 円	102.3%
歳末たすけあい募金	5,310,000 円	4,255,113 円	80.1%

３．収益事業

(1) 自動販売機設置経営事業の実施（事業区分：Ⅲ－1）

財源確保を図るため自動販売機を設置した。また、社会貢献の一環として売り上げの一部を社協に寄附する社会貢献型自動販売機の設置を市内法人等に働きかけた。

・ 市内公共施設（26 台）
　あしすと春日部（２台）、庄和社会福祉センター、庄和総合支所（３台）
　埼葛斎場、子育て支援センター（２台）、正和工業にじいろホール（２台）
　市民センター（粕壁、正風館２台）、公民館（藤塚）、学校給食センター
　公園（一ノ割公園、牛島古川公園、八幡公園、旧倉松公園、大枝公園）
　消防署（本部、東分署、浜川戸分署、幸松分署）、龍Ｑ館
・ 社会貢献型自動販売機（５台）
　㈱アリム、秋山総合防災㈱、伊澤氏物件、㈱石原造園土木、松崎邸
・ 手数料収入　　3,462,954 円

(2) 不要入れ歯リサイクル事業

NPO 法人日本入れ歯リサイクル協会の協力のもと、不要となった入れ歯（金属部分）を回収、リサイクルすることによる収益金を地域福祉推進に活用した。

・ 回収ボックス設置場所　　市役所本庁舎、庄和総合支所、武里出張所
　総合福祉センター
・ 回収個数：173 個　　金額：59,350 円

令和６年度「市民福祉まつり・第３７回ふれあい広場」事業報告

１　**日時**　　令和６年１１月２日（土）　午前９時３０分 ～ 午後３時

２　**場所**　　春日部市総合体育館「アイル・アリーナ　ウイング・ハット春日部」

３　**テーマ**　　つながる・まじわる・ひろがる春日部

４　**主催**　　社会福祉法人 春日部市社会福祉協議会

５　**主管**　　第３７回 ふれあい広場実行委員会

６　**後援**　　春日部市、春日部市教育委員会

７　**来場者数**　　約６，０００人

８　**参加団体数**　　４２団体

９　**協賛団体**　　１７団体：１３９，３９５円

10　**売上金額**　　フワフワスライダー　２１，８００円
ふれあい募金　　１，５５５円

11　**開催内容**

(1) **メインアリーナ**

① 式典

開式の言葉	社会福祉協議会副会長	金重　光江
主催者挨拶	社会福祉協議会会長	鈴木　敏仁
来賓祝辞	市長 市議会議長 前復興大臣 衆議院議員 県議会議員	岩谷　一弘 小久保　博文 土屋　品子 権守　幸男
祝電披露	埼玉県知事	大野　元裕
閉式の言葉	社会福祉協議会副会長	並木　素生

② 舞台発表

市内ボランティア団体等による発表

予定時間	発表団体等
10:30～10:50	DROPS.（キッズダンスショー）
10:50～11:10	ともに福祉会 ODR19（利用者によるダンス発表）
11:10～11:30	保育課（保育士による体操・手遊び・オペレッタ）
11:35～12:15	仮面ライダーショー　≪終了後、握手会≫
13:40～14:00	サラ民踊クラブ（民踊）
14:00～14:20	保育課（保育士による体操・手遊び・オペレッタ）
14:20～14:50	仮面ライダーショー

③ 市内福祉団体等による販売・展示・発表等

④ 親子ふれあいキャラクターショー

⑤ ユニバーサルデザイン絵画の展示

市内在住者に対しデザインを募集し、考えていただく事で、共に生きていく福祉のこころを育成していくことを目的とする

⑥ ユニバーサル商品の展示

「介護すまいる館」、「埼玉県障害者交流センター」による商品の展示・体験等

⑦ ボランティア紹介コーナー

「春日部市ボランティア活動推進連絡会」による、ボランティア活動紹介パネルの展示・体験等

⑧ 「松実高等学園」、「おおぞら高等学院」による来場者参加型のコーナー

⑨ 防災コーナー

「SL 災害ボランティアネットワーク・埼玉」による防災についての展示・体験等

⑩ デフリンピックについての展示

聴覚障がい者のための国際的な総合スポーツ競技大会についての展示

(2)サブアリーナ

① 市内福祉団体等による販売・展示

子育て支援活動に関する展示・キッズコーナー等

② フワフワスライダー

③ ユニバーサルスポーツ（ボッチャ、ユニカール等）の体験

④ 「メッセージアート」の作成

福祉施設利用者と来場者が一体となって一つの作品を作り上げる、来場者参加型イベント

(3) 屋外

① 市内福祉施設及び福祉団体による販売・展示

② 警察車両の展示・乗車体験

③ 低床バスを使用しての車いす体験・アイマスク体験

④ 「春日部市社会福祉法人連絡会」及び「子どもの支援ネットワーク」によるフードドライブ

実績：１２件　９９２個

(4) その他

スタンプラリー実施

12　協力・協賛団体

日進消防設備(株)	春日部警察署
（福）埼玉県社会福祉協議会 介護すまいる館	埼玉県障害者交流センター
春日部市いきいきクラブ連合会	関東運輸局埼玉運輸支局
（一社）埼玉県バス協会	朝日自動車（株）
SL 災害ボランティアネットワーク・埼玉	（一社）春日部市医師会
（一社）春日部市薬剤師会	（株）東京コーン紙製作所
（株）三和文具	（有）本澤運送
甲府水道土木（株）	（福）恩賜財団済生会支部埼玉県済生会　彩光苑
（特非）MCK コミュニティぴーす	上原商事（有）
（有）あすま商事	武里団地自治会協議会
（有）あすかホール	春日部地区保護司会春日部支部
（株）石原造園土木	（有）庄和商事
さいたま春日部市場（株）	春日部環境衛生事業協同組合